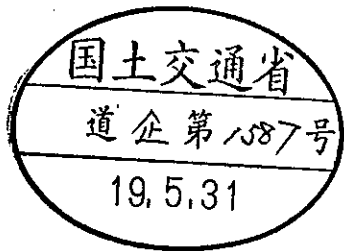


天



北九建道計第24号
平成19年5月2日

国土交通省道路局長
宮田 年 耕 様

北九州市長 北橋 健治



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平素より本市の道路行政につきましては、格別のご支援、ご配慮を賜り、深く感謝を申し上げます。

さて、平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のあった「中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出」につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

記

中期計画作成にあたっての意見

「今後の道路政策や道路の整備・管理について」

- ・ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策
- ・ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと
- ・ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

道路は、市民の暮らしと経済活動を支える重要な社会基盤であり、今後とも着実な整備と良好な維持保全を図ることが必要不可欠であると考えています。

本市では、これまでも地域経済の活性化に向けて貴省の多大なるご支援のもと新北九州空港など物流拠点施設を支える幹線道ネットワークの構築とともに市民生活の利便性や安全性を高める道路整備を進めてまいりました。

一方、近年当市では、ものづくり産業の集積地として、鉄鋼、化学、機械などの歴史のある産業はもとより、自動車、半導体など幅広い分野の企業が立地しつつあります。加えて、飛躍的な成長を遂げるアジアの玄関口という地理的優位性や広大な産業用地、優秀な人材の集積など、大きなポテンシャルの地域として、国内外からも注目を集めるようになりました。

つきましては、こうした当市の特徴を最大限に生かし、さらなる発展につなげていくための道路政策について、以下のとおりにまとめましたので、今後ともご高配を賜りますようお願い申し上げます。

■ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

1 東アジアの玄関口として国際競争力の強化を図る

- 陸海空が一体となり、広域的な物流ネットワークを形成する幹線道路整備
〔例えば、関門海峡道路、東九州自動車道、北九州空港アクセス、等〕

2 地域経済の自立と競争力を図る

- 企業立地を促進するため、物流の効率化や通勤圏の拡大に資する幹線道路の整備
〔例えば、国道3号黒崎バイパス、等〕

3 環境にやさしいコンパクトな都市構造への転換を図る

- 交通結節点の利便性向上や公共交通の定時性を高める幹線道路の整備
- 地球温暖化の要因となるCO₂を抑制する渋滞対策・市街地の緑化

4 安全・安心の確保を図る

- 子供からお年寄りまで誰もが安全に快適に暮らせる生活道路の整備
(バリアフリーの推進、事故危険箇所解消等)
- 地震や大雨など災害を予防するとともに、発災時に備えた緊急輸送道路の質的向上
(橋梁の耐震補強等)
- 道路の維持管理コストの縮減と予防保全型システムによる長寿命化

■ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

1 選択と集中

- 早期に効果を発現させる戦略的な整備計画（暫定供用、部分供用等）と予算の確保
- 近年の社会経済情勢の変化を踏まえた都市計画道路のルート変更や強化

2 目標を明確にし、市民に公表

- 完成時期や効果を明確に示し、市民の理解を深める

■ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

1 ビジターズインダストリーの振興

- 道路（沿道）空間に残る歴史・文化資産の保存と有効活用
- 道路空間をにぎわいづくりの場として提供

2 市民・民間との協働による安全・安心の道づくり

- 市民や民間との協働で道路清掃や花植活動等を行うおもてなしの道づくりを推進

3 道路特定財源について

- 道路特定財源については、基本理念である受益者負担の原則に基づき、一般財源に充てることなく、全額を道路整備に充当
- 真に必要な道路は計画的に整備すると同時にこれに必要な財源を継続的に確保
- 道路の維持修繕費用に対する国庫補助制度の拡大と財源を確保